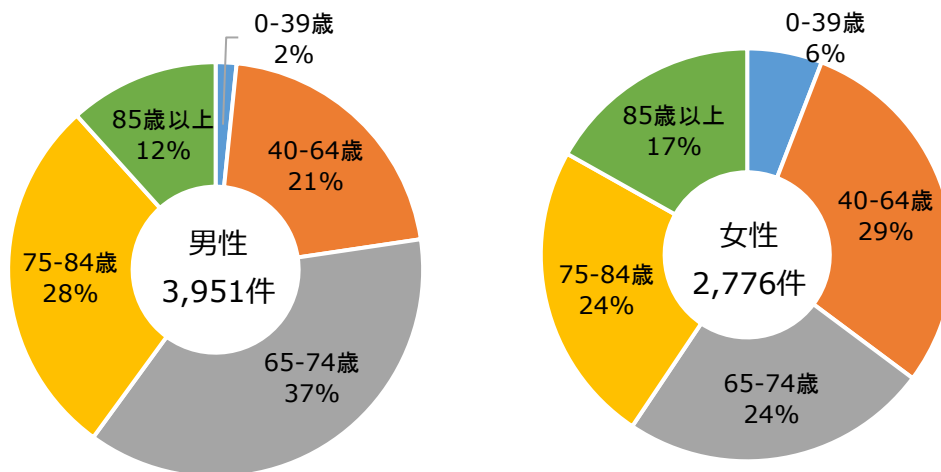


院内がん登録から見た鳥取県のがん罹患の現状（2016年）

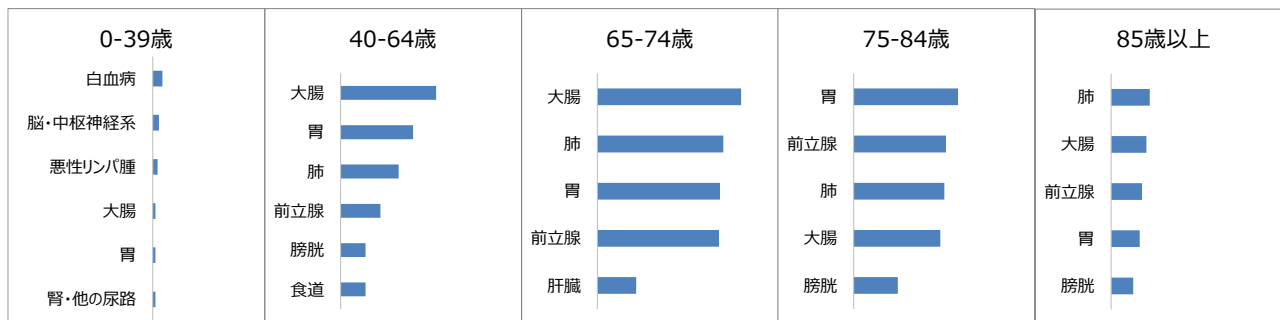
年齢区分別には、男性では、65～74歳代にピークが見られる。女性では、40～64歳代が最も多く、次いで65～74歳代、75～84歳代の順に多い。65歳以上の高齢者の割合は、男性が77%弱、女性が65%を占めます。

部位別には、0～39歳代の男性では、多い順に白血病、脳・中枢神経系、女性では、子宮、乳房、40～64歳代の男性では、大腸、胃、女性では、乳房、子宮、65～74歳代の男性では、大腸、肺、胃、前立腺、女性では、乳房、大腸、75～84歳代の男性では胃、前立腺、肺、大腸、女性では、大腸、肺、乳房、85歳以上では、男性は肺、大腸、前立腺、胃、女性は大腸、胃となります。

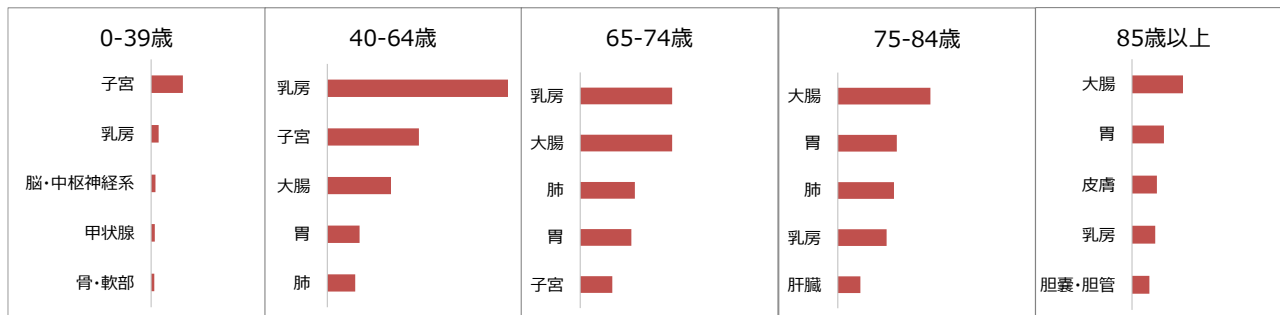
年齢階級別登録割合

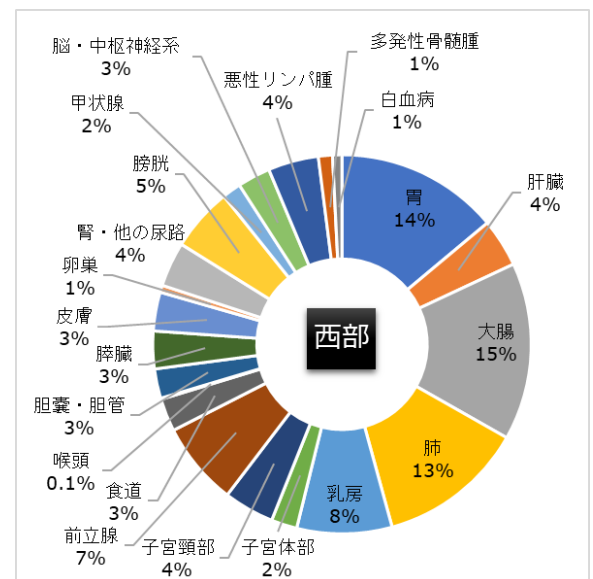
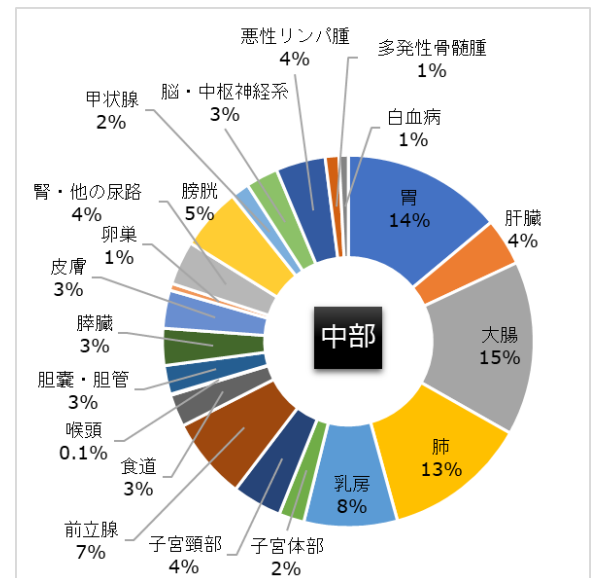
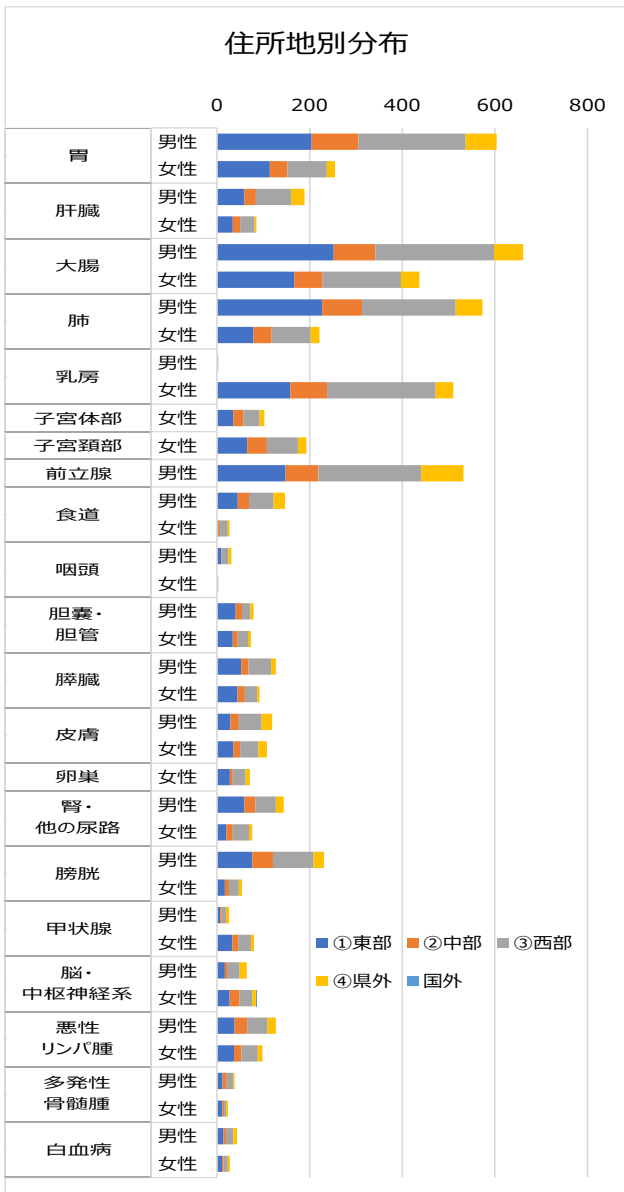
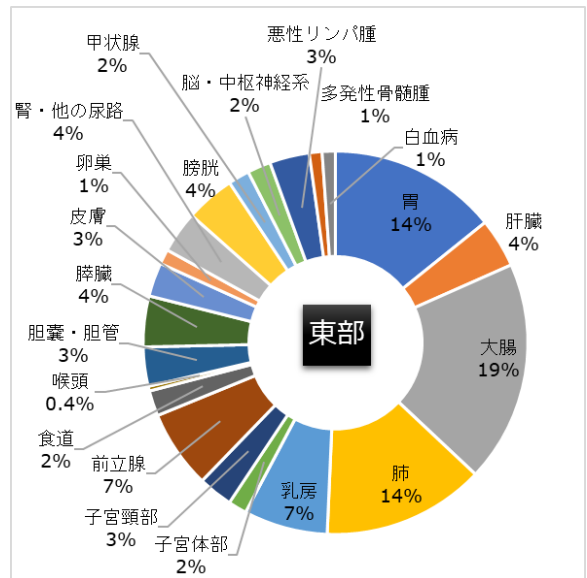
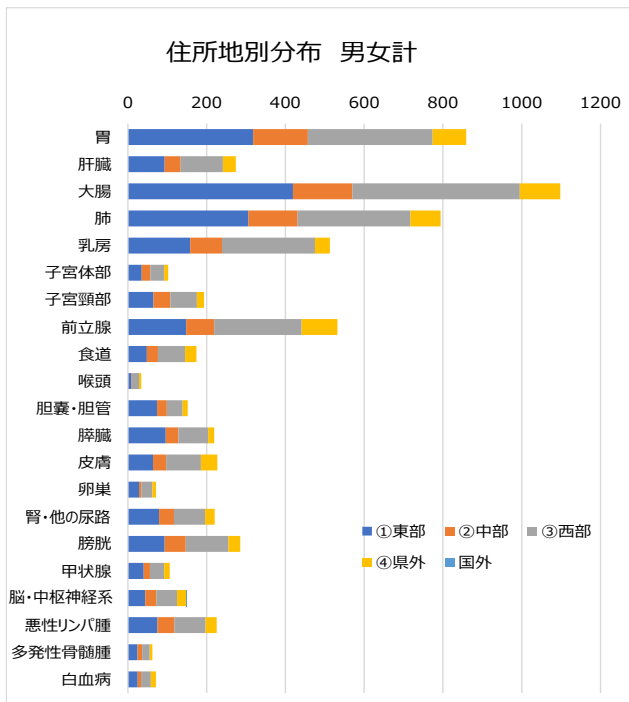


年齢区分別上位5部位（男性）



年齢区分別上位5部位（女性）





来院経路

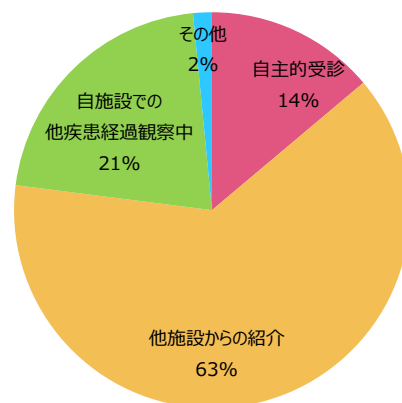
来院経路別には、「他施設からの紹介」が6割強を占めて最も多く、次いで「自施設での他疾患経過観察中」が21%、「自主的受診」は14%と少ない。

全国比較では、「自主的受診」は全国より多く、「他施設からの紹介」は全国より少ない。

施設別には、「自主的受診」は博愛病院で最も多く、「他施設からの紹介」は鳥取大学医学部附属病院で最も多い。

部位別には、「自主的受診」は乳房が最も多く、「他施設からの紹介」は子宮体部が最も多い。

来院経路別登録割合（鳥取県）



発見経緯

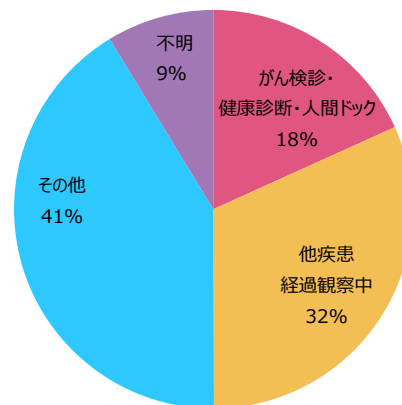
発見経緯別には、「他疾患経過観察中」が32%で最も多く、「がん検診・健康診断・人間ドック」は18%と少ない。

なお、「その他」と「不明」で半数を占めるので、実際にはそれ以上の割合になることが予測される。

全国比較では、「がん検診・健康診断・人間ドック」は、鳥取県が全国より2.5%多く、施設別には博愛病院が最も多い。

部位別には、「がん検診・健康診断・人間ドック」は子宮頸部40.6%、乳房30.3%、胃29.3%、前立腺28.5%、大腸26.0%の順で多く、「他疾患経過観察中」は肝臓が62.9%と最も多い。

発見経緯別登録割合（鳥取県）



ステージ分布（部位別、全体）

治療前では、ほとんどの部位でI期が最も多く、その割合は全国、鳥取県ともに2～8割を占め、子宮体部と胃が最も多い。0期は子宮頸部、II期は乳房、肝臓、IV期は肺が最も多い。

